



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

東

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社 上場取引所
 コード番号 1994 URL <https://www.t-cw.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 武治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部長 (氏名) 市川 尚 TEL 03-3271-1711
 定時株主総会開催予定日 2026年3月30日 配当支払開始予定日 2026年3月31日
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
2025年12月期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	7,338	△21.8	112	△81.0	186	△72.2	190	△48.9
	9,383	28.0	593	66.9	671	49.7	372	23.4

(注) 包括利益 2025年12月期 234百万円(△38.6%) 2024年12月期 381百万円(19.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2025年12月期	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	23.85	—	1.8	1.4	1.5
	45.79	—	3.5	5.1	6.3

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 一千万円 2024年12月期 一千万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
2025年12月期	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年12月期	12,628		10,796		85.5		1,362.59	
	13,876		10,772		77.6		1,342.61	

(参考) 自己資本 2025年12月期 10,796百万円 2024年12月期 10,772百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年12月期	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	2,511	△374	△1,015	2,150
	△1,855	△99	337	1,028

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00	161	43.7	1.5
2026年12月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00	159	83.9	1.5
							95.5	

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
第2四半期(累計)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	4,000	16.0	130	—	150	—	90	—	11.36	
	8,242	12.3	218	93.5	268	43.6	166	△12.9	20.95	

※ 注記事項

(1) 期中ににおける連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	9,553,011株	2024年12月期	9,553,011株
2025年12月期	1,629,264株	2024年12月期	1,529,264株
2025年12月期	7,987,630株	2024年12月期	8,138,810株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		
2025年12月期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年12月期	7,275	△21.9	114	△80.7	185	△72.3	190	△48.9	
2024年12月期	9,321	28.2	596	67.6	670	49.9	372	23.6	
		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益							
2025年12月期		円 銭					円 銭		
2024年12月期		23.83					—		
		45.77					—		

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
2025年12月期	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年12月期	12,559		10,798		86.0		1,362.77	
2024年12月期	13,806		10,774		78.0		1,342.81	

(参考) 自己資本 2025年12月期 10,798百万円 2024年12月期 10,774百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、米国の関税引き上げの影響により輸出は伸び悩みながらも、春闇にて実質賃金がプラスへ転換し、個人消費が下支え役となり、緩やかな回復基調が続いています。しかし、経済の正常化が進む一方、米中対立などの地政学リスクが依然として影を落としています。

このような状況の下、当建設業界におきましては、ゼネコン及びその協力会社である当社は資材高、人手不足によるコストアップを反映した見積もりを出さざるを得ず、その結果、延期もしくは見直しされる開発案件が続出しました。また、働き方改革により、ゼネコンが処理できるキャパシティーが減ったため、建設業施工総量が減少しています。それらの影響で、当社の工場稼働率は昨年に比べて低下し、売上、利益ともに減少しました。

プールを手掛けるアクア事業では、引き続き主力である学校プール新設に加え、インバウンド需要でホテルのプールが増加傾向にあります。また、既存プールのメンテナンスや老朽化したプール施設のリニューアル工事等の需要も増加傾向です。

この結果、当連結会計年度における当社企業グループの業績は売上高73億38百万円(前連結会計年度比21.8%減)、営業利益1億12百万円(前連結会計年度比81.0%減)、経常利益1億86百万円(前連結会計年度比72.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1億90百万円(前連結会計年度比48.9%減)となりました。なお、受注高は91億82百万円(前連結会計年度比23.0%増)、受注残高は88億87百万円(前連結会計年度比26.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①PCカーテンウォール事業

当セグメントの売上高は62億49百万円(前連結会計年度比27.6%減)、セグメント利益は20百万円(前連結会計年度比96.5%減)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

②アクア事業

当セグメントの売上高は10億26百万円(前連結会計年度比50.1%増)、セグメント利益は95百万円(前連結会計年度比233.9%増)となりました。

③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

当セグメントの売上高は62百万円(前連結会計年度比0.0%減)、セグメント損失は2百万円(前連結会計年度は2百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は126億28百万円と前連結会計年度末と比較して9.0%、12億48百万円の減少となりました。これは主に、現金預金が11億21百万円及び土地が2億40百万円増加した一方、受取手形・完成工事未収入金等が21億11百万円及び電子記録債権が4億52百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当連結会計年度末における負債合計は18億31百万円と前連結会計年度末と比較して41.0%、12億72百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が5億55百万円、電子記録債務が1億91百万円及び長期借入金が2億48百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当連結会計年度末における純資産合計は107億96百万円と前連結会計年度末と比較して0.2%、24百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が30百万円及びその他有価証券評価差額金が43百万円増加した一方、自己株式が49百万円増加(純資産は減少)したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前当期純利益1億85百万円、減価償却費2億83百万円、売上債権の減少額25億63百万円により25億11百万円の資金増加（前連結会計年度は18億55百万円の資金減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出3億69百万円により3億74百万円の資金減少（前連結会計年度は99百万円の資金減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金純減少額5億55百万、長期借入金の返済による支出2億48百万円、配当金の支払額1億60百万円により10億15百万円の資金減少（前連結会計年度は3億37百万円の資金増加）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は21億50百万円（前連結会計年度比109.0%増）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
自己資本比率(%)	77.0	86.6	84.2	77.6	85.5
時価ベースの自己資本比率(%)	40.4	33.0	32.2	33.4	32.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.3	—	0.4	—	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	510.9	—	441.1	—	545.6

(注) 1. 各指標の算出は以下の算式を使用しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

4. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

現在、資材、人件費、物流費、あらゆる費用が上昇しており、不動産開発費用は、一昔前の1.5倍から2倍になっています。この状況に直面し、不動産開発計画は練り直し、延期、中止が相次いでいます。そのためセメント業界をはじめ、建築資材の出荷は低迷しており、当業界／当社にもその影響が出ています。こうした状況をふまえて次期の見通しにつきましては、売上高は82億42百万円（前連結会計年度比12.3%増）、営業利益2億18百万円（前連結会計年度比93.5%増）、経常利益2億68百万円（前連結会計年度比43.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1億66百万円（前連結会計年度比12.9%減）を見込んでおります。一方、2026年は関東の市況が回復することが見えています。業績も回復してゆくと考えています。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の配当の基本方針といたしましては、将来の成長を展望した企業体質の強化、並びに積極的な事業展開に必要な内部留保の確保に配慮しつつ、安定的な配当額を加味しながら、株主の皆様への利益還元を心がけております。

具体的には、年間20円配当を安定的に行うことを基本とし、最近の業績動向等を勘案して、それ以上の配当額を目指すことを基本方針としています。

また内部留保につきましては、当社企業グループの競争力の維持・強化による収益力向上を図るための設備投資・開発研究等有効に活用する方針であります。

当期の期末配当につきましては、1株当たり期末配当金を従来予想通り10円となる予定です。これにより実施済みの中間配当金10円と合わせた年間配当金は1株当たり20円となる予定です。

次期の配当につきましては、安定配当を重視する方針に則り、中間10円、期末10円、計20円の配当をする予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社企業グループは、現在海外での活動がほとんどないことから、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,028,871	2,150,355
受取手形・完成工事未収入金等	6,000,063	3,888,899
電子記録債権	1,231,826	779,783
未成工事支出金	265,931	250,697
その他の棚卸資産	95,992	95,978
その他	69,102	91,508
流動資産合計	8,691,787	7,257,223
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,735,180	3,745,030
減価償却累計額	△3,231,630	△3,280,670
建物・構築物（純額）	503,550	464,359
機械、運搬具及び工具器具備品	3,237,324	3,305,887
減価償却累計額	△2,616,126	△2,798,835
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	621,197	507,052
土地	1,757,455	1,997,499
建設仮勘定	2,317	3,637
有形固定資産合計	2,884,521	2,972,549
無形固定資産	70,829	56,533
投資その他の資産		
投資有価証券	222,031	290,389
保険積立金	1,129,174	1,127,203
投資不動産（純額）	27,539	27,483
差入保証金	624,017	639,922
退職給付に係る資産	170,684	198,928
その他	61,717	63,799
貸倒引当金	△5,407	△5,327
投資その他の資産合計	2,229,757	2,342,400
固定資産合計	5,185,109	5,371,482
資産合計	13,876,896	12,628,705

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	568,465	540,201
電子記録債務	294,501	102,780
短期借入金	1,003,000	448,000
未払法人税等	178,405	36,890
未成工事受入金	5,750	36,379
完成工事補償引当金	1,390	1,130
賞与引当金	54,456	54,304
工事損失引当金	78,647	73,850
その他	278,753	152,208
流動負債合計	2,463,369	1,445,744
固定負債		
長期借入金	326,000	78,000
役員退職慰労引当金	171,128	187,675
その他	143,656	120,452
固定負債合計	640,784	386,127
負債合計	3,104,154	1,831,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	7,970,978	8,001,272
自己株式	△616,417	△666,317
株主資本合計	10,737,924	10,718,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,818	78,514
その他の包括利益累計額合計	34,818	78,514
純資産合計	10,772,742	10,796,833
負債純資産合計	13,876,896	12,628,705

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
完成工事高	9,383,723	7,338,120
売上原価		
完成工事原価	7,869,089	6,237,578
売上総利益		
完成工事総利益	1,514,633	1,100,541
販売費及び一般管理費	920,829	987,855
営業利益	593,804	112,686
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,205	3,438
補助金収入	10,913	-
保険返戻金	4,370	8,400
投資不動産賃貸料	6,717	2,425
受取家賃	10,865	8,535
鉄屑売却収入	42,330	45,034
貸倒引当金戻入額	835	80
その他	8,596	14,189
営業外収益合計	87,834	82,103
営業外費用		
支払利息	5,648	4,801
不動産賃貸費用	2,419	829
保険解約損	840	1,980
その他	969	488
営業外費用合計	9,877	8,099
経常利益	671,761	186,689
特別利益		
固定資産売却益	399	179
特別利益合計	399	179
特別損失		
固定資産売却損	-	44
固定資産除却損	2,390	1,179
減損損失	7,840	-
特別損失合計	10,230	1,223
税金等調整前当期純利益	661,931	185,646
法人税、住民税及び事業税	234,818	40,693
法人税等調整額	54,409	△45,567
法人税等合計	289,228	△4,873
当期純利益	372,702	190,520
親会社株主に帰属する当期純利益	372,702	190,520

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	372,702	190,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,635	43,696
その他の包括利益合計	8,635	43,696
包括利益	381,338	234,217
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	381,338	234,217

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	3,283,363	7,762,232	△470,564	10,675,030	26,182	26,182	10,701,213
当期変動額								
剰余金の配当			△163,956		△163,956			△163,956
親会社株主に帰属する当期純利益			372,702		372,702			372,702
自己株式の取得				△145,852	△145,852			△145,852
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	8,635	8,635	8,635
当期変動額合計	-	-	208,745	△145,852	62,893	8,635	8,635	71,528
当期末残高	100,000	3,283,363	7,970,978	△616,417	10,737,924	34,818	34,818	10,772,742

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	3,283,363	7,970,978	△616,417	10,737,924	34,818	34,818	10,772,742
当期変動額								
剰余金の配当			△160,225		△160,225			△160,225
親会社株主に帰属する当期純利益			190,520		190,520			190,520
自己株式の取得				△49,900	△49,900			△49,900
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	43,696	43,696	43,696
当期変動額合計	-	-	30,294	△49,900	△19,605	43,696	43,696	24,091
当期末残高	100,000	3,283,363	8,001,272	△666,317	10,718,318	78,514	78,514	10,796,833

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	661, 931	185, 646
減価償却費	304, 806	283, 083
減損損失	7, 840	-
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△835	△80
固定資産除却損	1, 110	964
固定資産売却損益（△は益）	△399	△135
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	18, 516	16, 547
完成工事補償引当金の増減額（△は減少）	330	△260
工事損失引当金の増減額（△は減少）	31, 165	△4, 797
賞与引当金の増減額（△は減少）	4, 362	△152
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△14, 426	△28, 243
受取利息及び受取配当金	△3, 205	△3, 438
支払利息	5, 648	4, 801
売上債権の増減額（△は増加）	△3, 050, 651	2, 563, 206
未成工事支出金の増減額（△は増加）	118, 251	15, 234
その他の棚卸資産の増減額（△は増加）	12, 479	13
保険積立金の増減額（△は増加）	△17, 511	1, 970
その他の資産の増減額（△は増加）	△5, 931	△40, 093
仕入債務の増減額（△は減少）	198, 810	△219, 984
未成工事受入金の増減額（△は減少）	△25, 415	30, 629
その他の負債の増減額（△は減少）	42, 220	△110, 498
小計	△1, 710, 904	2, 694, 413
利息及び配当金の受取額	3, 217	3, 452
利息の支払額	△5, 736	△4, 602
法人税等の支払額	△141, 958	△182, 212
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1, 855, 382	2, 511, 050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△95, 546	△369, 218
有形固定資産の売却による収入	400	198
無形固定資産の取得による支出	△7, 672	△4, 570
貸付けによる支出	-	△7, 100
貸付金の回収による収入	3, 750	6, 625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99, 069	△374, 065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	370, 000	△555, 000
長期借入れによる収入	500, 000	-
長期借入金の返済による支出	△220, 000	△248, 000
建設協力金の返済による支出	△2, 520	△2, 520
自己株式の取得による支出	△145, 852	△49, 900
配当金の支払額	△164, 050	△160, 080
財務活動によるキャッシュ・フロー	337, 576	△1, 015, 500
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1, 616, 874	1, 121, 483
現金及び現金同等物の期首残高	2, 645, 746	1, 028, 871
現金及び現金同等物の期末残高	1, 028, 871	2, 150, 355

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社企業グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社企業グループは、顧客に提供する製品・サービスの特性をベースとして構成した、「PCカーテンウォール事業」、「アクア事業」の2つを報告セグメントとしております。

「PCカーテンウォール事業」は、主としてオフィスビルの外壁の設計・製造・施工を行っております。

「アクア事業」は、ホテル・学校・スポーツ施設のプールならびに各種温浴施設などの水施設・水空間・水環境の企画・提案・設計・施工を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	PCカーテンウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,637,881	683,562	9,321,444	62,278	9,383,723	—	9,383,723
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,637,881	683,562	9,321,444	62,278	9,383,723	—	9,383,723
セグメント利益又はセグメント損失(△)	568,133	28,470	596,603	△2,799	593,804	—	593,804
セグメント資産	10,997,652	192,826	11,190,478	80,405	11,270,884	2,606,012	13,876,896
その他の項目							
減価償却費	304,484	—	304,484	221	304,705	101	304,806
減損損失	—	—	—	—	—	7,840	7,840
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	129,221	—	129,221	—	129,221	—	129,221

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額2,606,012千円は、セグメント間債権債務消去△8,180千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産2,615,821千円が含まれており、その主なものは提出会社での余資運用資金等であります。

(2) 減価償却費の調整額101千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(3) 減損損失の調整額7,840千円は、全社資産の投資不動産に係るものであります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	PCカーテンウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,249,720	1,026,124	7,275,844	62,276	7,338,120	—	7,338,120
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,249,720	1,026,124	7,275,844	62,276	7,338,120	—	7,338,120
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	20,047	95,061	115,109	△2,423	112,686	—	112,686
セグメント資 産	8,402,841	322,802	8,725,644	75,270	8,800,914	3,827,791	12,628,705
その他の項目							
減価償却費	282,804	—	282,804	222	283,027	55	283,083
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	357,563	—	357,563	—	357,563	—	357,563

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額3,827,791千円は、セグメント間債権債務消去△5,090千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産3,834,329千円が含まれており、その主なものは提出会社での余資運用資金等であります。

(2) 減価償却費の調整額55千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1 株当たり純資産額	1,342円61銭	1,362円59銭
1 株当たり当期純利益	45円79銭	23円85銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	372,702	190,520
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	372,702	190,520
普通株式の期中平均株式数(株)	8,138,810	7,987,630

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2024年12月31日)	当連結会計年度末 (2025年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,772,742	10,796,833
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,772,742	10,796,833
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(株)	8,023,747	7,923,747

(重要な後発事象)

該当事項はありません。